

スペースシャワーTVの人気番組「モンスターロック」と「Monster Energy」が再びタッグ！
「SPACE SHOWER TV × Monster Energy モンスターロック LIVE 2018」開催！
全3公演に豪華9組が出演するツアーが5月8日(火)、大阪 なんばHatchでスタート！
サンボマスター / Dizzy Sunfist / ヤバイTシャツ屋さん



Photo by 浜野カズシ

日本最大の音楽専門チャンネル スペースシャワーTVが誇る大人気レギュラー番組「モンスターロック」は、日本のロックシーンを応援する「Monster Energy」とタッグを組み、全国3か所でスペシャルなライブを行う「SPACE SHOWER TV × Monster Energy モンスターロック LIVE 2018」を、5月8日(火)に大阪 なんばHatchでスタートさせました。

この日は、サンボマスター / Dizzy Sunfist / ヤバイTシャツ屋さん といった「モンスターロック」にゆかりの深い3組がなんばHatchに集結し、ライブを披露いたしました。

つきましては、豪華なライブの様様をライブレポート・ライブ写真素材でお送りいたしますので、是非、貴媒体で取上げていただけますと幸いです。ご検討の程、何卒宜しくお願いいたします。

5/9(水)の名古屋 ダイアモンドホール公演(出演：ENTH / coldrain / THE BAWDIES)、
5/31(木)の東京 新木場STUDIO COAST公演(出演：きゅりーぱみゅぱみゅ / PUFFY / マキシマム ザ ホルモン)
の様様も、各公演翌日以降にお送りさせていただきます。

何卒よろしくお祈りいたします。

<イベント開催概要>

SPACE SHOWER TV × Monster Energy モンスターロック LIVE 2018

大阪 なんばHatch公演

- 日時：5/8(火) OPEN 18:00 START 19:00
- 会場：大阪 なんばHatch
- 出演：サンボマスター / Dizzy Sunfist / ヤバイTシャツ屋さん
- イベント公式サイト：<https://www.spaceshowertv.com/monsterrocklive/>
- Twitterアカウント：@MonsterRockSSTV
- 主催：SPACE SHOWER TV
- オフィシャルパートナー：Monster Energy ■ 特別協力：ファミリーマート
- 制作協力：H.I.P.

**「モンスターロック LIVE 2018」大阪・名古屋・東京での全3公演の様様を凝縮！
ドキュメンタリーを中心に、特別番組として7/24(火)にスペースシャワーTVでオンエア！**

※ライブ放送アーティストは未定です

視聴方法：<http://sstv.jp/howto>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社スペースシャワーネットワーク コンテンツマーケティング部
TEL：03-3585-3544 FAX：03-3585-3215
担当：北村由衣子 kitamura@spaceshower.net

<ライブレポート>

スペースシャワーTVのロック専門番組「Monster Rock」と日本のロックシーンを応援する「Monster Energy」がタッグを組むライブツアー「SPACE SHOWER TV×Monster Energy モンスターロック LIVE 2018」。東名阪で開催されるが、一発目は大阪。5月8日(火)なんばHatchでサンボマスター、Dizzy Sunfist、ヤバイTシャツ屋さんが出演。各会場には、番組VJのマキシマム ザ ホルモンのダンスはんやナヲも番組内で体験した名物企画「ビリビリジエンガ」や10-FEETのKOUICHIとマジック中野ことピエール中野の最新マジックをVRで体感できる特設ブースも設置されている。

開演時間となり、ステージのスクリーンには60からのカウントダウンが映され、その後、番組の説明や3バンドの紹介もあり、いよいよ一番手のヤバイTシャツ屋さんへ。1曲目「あつまれ！パーティーピーポー」から当たり前のようにダイバーが続出して、大盛り上がりな訳だが、何よりも驚いたのがボーカルこやまたくやの声。声帯手術で1ヶ月休んでいたとは思えないパフォーマンスである。強靱なのは喉だけでなく、演奏。スポーツで言うところの足腰しっかりではないが、数々のライブ、イベント、フェスで、ここ3年揉まれまくっているだけあって、全くブレない音を鳴らしまくる。一瞬でフロアを大爆発させるライブだが、MCでは力を入れ過ぎない緩やかな斜め目線の喋りを。普段、ロックを聴かないサラリーマンもヤバTに夢中になっているという話もよく聴くが、熱すぎず、でもクスリとできるユーモアがあって、楽しく騒げるのが何よりの魅力なのだろう。この日も「喜志駅周辺なんもない」、「無線LANは便利」というラインナップでは、特にそういう事を感じられた。まさしく楽曲内容を名前で表すニューシングル収録の「鬼POP激キャッチー最強ハイパーウルトラミュージック」も初聴きの観客が圧倒的に多いだろうが、何の違和感も無く盛り上げまくる。例えワンシーズンで何度も観ていても、ホリック的にまた観たいとすぐ想うファンが多いのは、やはり楽曲の強さだろう。良い意味で何もメッセージなどを深く考えずに楽しく騒げるが、じっくりゆっくり家で歌詞カードを読むと時にはシリアスな意味深なメッセージも飛び込んでくる。そのバランス感覚の強みを見せつけられたライブであった。まさかの持ち時間2分余らしたという事で、ラストは急遽、予定に無かった「Universal Serial Bus」でメ。キッズも大人もみんな虜になる、まさに粋な演出であった。

二番手は地元大阪出身のDizzy Sunfist。登場前には「モンスターロック」出演時のボーカルあやべたの天然キャラぶりがクローズアップされた映像が流される。メンバー3人がモンスターエナジーを飲みながら登場。1曲目「LIFE IS A SUSPENCE」を皮切りに怒涛のナンバーが続くが、ビックリしたのはあやべたのステージのスイッチの入り方。さっきまでのスクリーンでの天然キャラの穏やかさが嘘かのように「かかってこい！」などとフロアを煽りまくる。時には早口過ぎて何を言っているのかわからなかつたりするのだが、そのパッションだけは、もうズドンと伝わる。そこにドカドカとドラムが入ってきた「Someday」など、ヤバTの熱気を引き継ぎ、塗り変える勢いであった。長めのMCタイムでは番組通りの天然キャラに戻っており、ゆっくりと喋るので全ての言葉は聴き取れるのだが、意味という点で結局は何を言っているかわからないのだが、ドラムのmoAiがナイスツッコみが冴えまくり、フロアは爆笑に包まれる。この御愛嬌感も素敵だったが、あやべたは11年前の高校生時代に初めてなんばHatchにライブを観に来て、そして今回初めて自分達が、そのステージに立てた喜びをストレートに丁寧に伝える。「うちの青春は誰にも終わらせない！」と宣言してからの「SUMMER NEVER ENDS」はエモさしかなかった。特筆すべきはラスト1曲前「Tonight, Tonight, Tonight」のメロディアスさ…。ただただ純粋にポップでキャッチーだし、キュートさやロマンチックさも感じられるナンバーであった。ラストナンバーは、10月27日(土)のツアーファイナル公演としてなんばHatchでワンマンを開催する事を告げ、会場を満杯にする事が自分たちの夢と言い切ったからの「The Dream Is Not Dead」。最後あやべたは「またライブハウスで逢いましょう！」と清々しい表情で語りかけ、去っていった。

三番手大トリはサンボマスター。関西の20代スリーピースバンドがふたつ続いた後の関東の40代、もはやベテランの域にすら達してきたスリーピースバンド。登場前には「モンスターロック」出演時のボーカル山さんこと山口隆の可愛げある文句言いぶりがクローズアップされた映像が流される。そして、お馴染みゴダイゴ「THE BIRTH OF THE ODYSSEY～MONKEY MAGIC」の登場SEにより、3人が現れる。1曲目「世界をかえさせておくれよ」から、まあ山さんの盛り上げ方煽り方が尋常じゃない。「ここ大阪ですよ?! こんな静かでしたっけ?! 聴こえねえんだよ!!」ともはや挑発の様な発言を演奏中の歌詞と歌詞の間に入れ込むわけだから、その力技に見事にフロアは持っていられる。「連休明けのド平日！」なんていう謎のコールも気が付きや普通に叫んでいるフロア。とにかく若い2バンドに負けたくないという気迫を感じまくる。「ミラクルをキミとおこしたいんです」、「光のロック」で一気に突っ走った後に、スローバードな「ラブソング」へ。その緩急の付け方はサンボの昔からの必殺技でもあるが、この日は、いつも以上の威力があった。それはイベント自体が熱狂的なムード、サンボの楽曲も熱狂的なムードだったからもあるだろうが、より沁み込めたのが途中演奏を止めての20秒間の静寂。それは、まるで黙祷の様で…。音が沁み込むという素晴らしい凄さを感じさせられた瞬間であった。この魅せ方は誰にでも出来る事ではないし、フロアにいた誰もが音楽のふり幅を体感できたであろう。

ここからは「オレたちのすずむ道を悲しみで閉ざさないで」、「できこないをやらなくちゃ」、「世界はそれを愛と呼ぶんだぜ」をMCから繋げながら豪快にぶちかましていく。山さんが何度も言う「普段のクソみたいな生活」を生き抜くためのロックンロールが確実に鳴っていた。全員がクシャクシャの笑顔で「愛と平和」と「LOVE&PEACE」を叫ぶ姿は本当に美しい。最後は、これまたお馴染みの退場SEであるCurtis Mayfield「Move On Up」が流れる。いつも、この曲を聴く度に「今日もサンボは素晴らしいかった…」と嘯みしめる事が出来る…。そんな最高の瞬間であった。

ここで幕が閉まるかと思いきや、スクリーンには「モンスターロックLIVE2018は、まだ終わらない!」の文字が！そして、超豪華プレゼントコンプリートセットとして、モンスターエナジー6種類のワンケース計144本と出演者全員の私物を紹介するVTRが流れる。本イベントには全く関係なくくり岸田繁も、まさかの私物提供という嬉しいオマケ映像も流れ、その場で抽選会に！最後の最後まで最高のイベントであった。このままツアーは、5月9日(水)名古屋ダイアモンドホールと5月31日(木)新木場STUDIO COASTへと続く。また、これらの模様は7月24日(火)にスペースシャワーTVで「モンスターロックLIVE SPECIAL」としてOAされる。

(取材・文 = 鈴木淳史 / 撮影 = 浜野カズシ)

<本件に関するお問い合わせ先>
株式会社スペースシャワーネットワーク コンテンツマーケティング部
TEL : 03-3585-3544 FAX : 03-3585-3215
担当 : 北村由衣子 kitamura@spaceshower.net